

令和5年春
完成予定!

したのや 下野谷遺跡を整備しています!

下野谷遺跡は西東京市東伏見に所在する縄文時代中期の環状集落*の遺跡です。平成27年3月には、都市部に良好な状態で残された集落跡が大規模に集積している遺跡の一部が、国史跡に指定されました。現在、下野谷遺跡を確実に保存していくとともに、地域資源として生かしていくための整備を行っています。今回は、整備内容の一部をご紹介します(整備は令和5年春に完了予定です)。整備完了後も様々な活動を通し、成長し続ける遺跡を目指します。

*環状集落: 墓域と考えられる土坑群のある広場を竪穴住居や掘立柱建物が囲うように並ぶ集落



整備中

1 竪穴式住居

当時の住居である竪穴式住居(床面を掘り下げて作る建物)を復元します。下野谷遺跡からは竪穴式住居跡が400軒以上見つかりました。発掘調査の結果等を参考に、見学された方が当時の暮らしをイメージできるように整備をします。



イメージ図

整備中

2 「土器溜り」

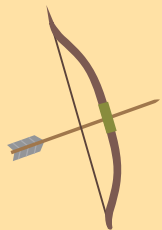
当時使用していた土器がまとめて発掘された様子を復元します。下野谷遺跡からは多数の土器や石器等の遺物が見つかりました。遺物を通して、縄文人の生活の様子や集落が営まれた期間、縄文人の優れた技術等を知ることができます。



発掘の様子



発掘の様子



下野谷遺跡の公式キャラクター「したのやムラの『のーや』」
©T&K / 西東京市



下野谷遺跡の公式キャラクター「したのやムラの『しーた』」



3 床面表示タイル

タイルで作成した下野谷遺跡の地図です。エントランスに設置しており、見学された方が遺跡を知るために活用できます。



4 トイレ棟

遺跡の雰囲気を損なわないように、集落復元ゾーンからエントランスゾーンに移設しました。見学された方が安心・快適に過ごせるように、多目的トイレも設置しています。



5 土坑墓

当時のお墓を復元しています。下野谷遺跡からも土坑(お墓と考えられる穴)が広場の中央に密集した状況で見つかりました。



6 史跡標柱

下野谷遺跡を示す目印です。文化財保護法に基づき、設置されています。



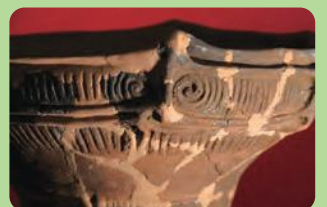
勝坂式土器

もっと知ろう!

下野谷遺跡の土器



下野谷遺跡からは、縄文時代の早期から後期にかけての長い年代にわたる様々な土器が出土しています。縄文時代中期後葉の「勝坂式土器」と「加曾利E式土器」が最も多く出土しています。また、甲信越や南東北等の土器の要素が含まれる土器も見られ、人や物の交流を垣間見ることができます。



加曾利E式土器

◆社会教育課 042-420-2832

東京文化財ウィーク2022

東京都では秋に文化財ウィークとして、各市区町村の文化財の公開や企画を行っています。内容等については東京都生涯学習情報ホームページの東京文化財ウィーク情報をご覧ください。



開催
しました!

第16回縄文の森の秋まつり

～したのやムラにおかえりなさい!
しーたとのーやも待ってます～

したのや

10月2日(日) 下野谷遺跡公園

今年は、したのやサポーター「ココスポ!じょうもんず♪」によるしたのや縄文体操や、東京都埋蔵文化財センター職員による下野谷遺跡出土品の解説、東伏見商栄会の野菜販売など、盛りだくさんの内容でした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりとなる現地での開催でしたが、以前と変わらず大盛況のイベントとなりました。



魚の解体ショーの様子

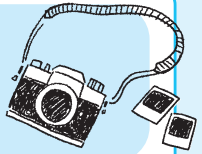


したのや縄文体操の様子

絶賛
開催中!

思い出の中の風景

一定点写真で見る田無の昭和と今



定点写真で、田無の活気に満ちた昭和と今を比較展示します。思い出の中の懐かしい田無の風景と街の移り変わりを写真と広報誌で紹介します。

▶日時 10月29日(土)～12月25日(日)

午前10時～午後5時 ※月・火 休室

▶申込 不要・入場料無料

▶会場 西東京市郷土資料室・企画展示室

▶問合せ 郷土資料室 ☎042-467-1183

▶所在地 西原町四丁目5番6号(西原総合教育施設2階)

▶交通 西武新宿線「田無駅」北口・西武池袋線「ひばりヶ丘駅」南口から西武バス(田44・境07系統)で「西原グリーンハイツ」下車徒歩3分

▶新型コロナウイルス感染症への対応として、下記を実施しています。

- 展示室の換気及び展示ケースの消毒
- 手指消毒液の設置
- 来室者へ受付票ご記入のお願い(氏名、連絡先等)

◆社会教育課 042-420-2832

まちなか先生～取組のご紹介～

西東京市では、市立小・中学校を対象に、地域で活動している団体や、専門職員(学芸員、司書)を講師として派遣し授業を行う、「まちなか先生」の取組を行っています。実際に行われた授業についてご紹介します。

したのや

縄文のムラ 下野谷遺跡を知ろう!

西東京市が誇る国史跡である下野谷遺跡について、2回に分けて授業を行いました。

1回目の授業では、現地でフィールドワークを行い、2回目の授業では、下野谷遺跡について調べて出てきた疑問を、学芸員にインタビューしました。

フィールドワークでは、下野谷遺跡の

立体模型や上空写真タイルで分かりやすく学ぶなど、遺跡の雰囲気を感じることができました。

インタビューでは、19個の質問がありました。学芸員と対話することで、より質問を掘り下げながらインタビューを行うことができ、その後のまとめ学習につながる授業となりました。



フィールドワークの様子



インタビューの様子

◆社会教育課 042-420-2832

平和授業

～体験を語り継ぐ、私たちの住むまちにあった戦争～

太平洋戦争下で、B29からの爆撃により多くの犠牲者が出た西東京市。戦時下において市民や子どもたちが、戦争・空襲によって命を落としたという薄れゆく記憶を確かなものにし、自分たちの住むまちの歴史を知り、平和とは何であるかを問い、命の尊さを学ぶ学習を行いました。

ご家族が田無駅周辺で空襲体験をした、総持寺住職小峰立丸氏と秋原直規氏を講師に迎え、伝え聞いた西東京市の空襲被害の様子を話していただきました。



平和の大切さを語る講師たち

◆公民館 042-464-8211

災害(風水害)で何が起こるか想像してみよう

～東京マイ・タイムライン※をつかって～

近年の異常気象(気温の上昇や大雨の増加など)を踏まえ、自然災害に対する情報の集め方や知識を得るために、東京マイ・タイムラインやハザードマップを使った学習を行いました。災害に対する備えを学び、学んだ内容を家族と共有する大切さに気付く機会となりました。

▶講師:西東京レスキューバード

※東京マイ・タイムラインとは、風水害時の避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。



講座の様子

◆公民館 042-464-8211

理科・算数だいすき実験教室を開催しました！

7月23日(土)、早稲田大学高等学院で、理科・算数だいすき実験教室が開催されました。この実験教室は、早稲田大学高等学院協力のもと、子どもたちの理科・算数離れを解消し、理科・算数が好きと言える子どもたちを育てることを目的としています。

当日は、およそ150組の親子が参加しました。参加した子どもたちは、自分たちで組み立てた橋を渡ったり、化石を磨いて顕微鏡で観察するなど、普段学校では行わないような実験に目を輝かせていました。

実験教室開催後のアンケートでは、「親子で参加できてよかった」「とても分かりやすかった」「また参加したい」などの声がありました。

実験内容の一部を紹介します

スライムと人工イクラ ～液体から固体への変化を楽しもう～

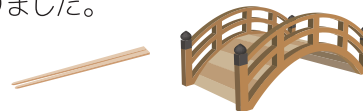


- 洗濯のり、ホウ砂の濃い水溶液、墨汁、白絵具を使ってスライムを作りました。完成したスライムをモデルとして、火山の形を学びました。
- アルギン酸ナトリウム、塩化カルシウム水溶液、色を付けるための絵の具などを使って、マイクロカプセル(人工イクラ)を作りました。

レオナルドの橋 ～レオナルド・ダ・ヴィンチが設計した橋を作って渡ろう～



割り箸を使って、レオナルド・ダ・ヴィンチが設計した、釘のいらぬ橋のミニチュアを作りました。ミニチュアを作成後、人が渡れる大きさの橋を作成し、実際に渡りました。



線の世界 ～直線と曲線で遊ぼう～



紙に工夫して線を描くことで、不思議なことや本質的なことに気づき、今までと違う角度から、線の世界を楽しみました。また、直線と曲線を使ったゲームを行い、ゲームのルールをどのように設定するとより楽しめるかを探求しました。

コハクを知ろう ～若いコハクをみがいて化石になった虫を見つけよう～



数万～百万年前の若いコハクを磨き、顕微鏡を使って中にいる昆虫を観察しました。昆虫はデジタルカメラで記録し、磨いたコハクを持ち帰りました。



◆教育企画課 042-420-2822

パナマ大使が本町小学校に来校しました！

本町小学校では、子どもたちが歴史・文化を知り、多様なものの見方ができるようになることや、視野を広げること、表現力・コミュニケーション能力を育成することを目的に、パナマ共和国との国際交流活動を行っています。

7月に国際交流体験として、パナマ大使館のカルロス・ペレ駐日大使が本町小学校に来校しました。交流会では、子どもたちが作成した図工交流作品の紹介や日本の授業、学校行事、給食等の学校生活の様子を紹介する出し物を披露しました。大使からもパナマの生活の様子等について、紹介していただきました。実際に大使から話を伺うことで、子どもたちが国際文化の多様性を学ぶ良い機会になりました。



交流会の様子



児童の出し物
「日本の給食の紹介」



教育長とパナマ大使

◆教育企画課 042-420-2822

中学校巡回ピアノ公演が実施されました！

東京田無ロータリークラブが主催する、中学校巡回ピアノ公演が実施されました。この事業は、3年をかけて全市立中学校で実施される予定となっており、今年度はひばりが丘中学校、田無第三中学校、青嵐中学校の3校で実施されました。ピアニストの佐藤恵美さんの演奏では、バッハのメヌエットやモーツァルトのトルコ行進曲などの名曲が奏でられました。実際にピアノ公演を聴いた生徒からは、「聴いていて、すごく心に響いた」「衝撃を受けて、もっと音楽が好きになった」といった声がありました。



公演の様子

◆教育指導課 042-420-2827

あ
い
さ
し
で
安
心
の
街
育
て
よ
う

ユニフォームが寄贈されました！

西東京市PR親善大使である卓球の森蘭政崇選手から、コロナ禍で部活動や大会が制限されている子どもたちに向けて、ユニフォームが寄贈されました。寄贈されたユニフォームは市立中学校に展示されています。

森蘭政崇選手からのコメント

僕は小学6年生まで西東京市にいて、父親に卓球を教わりながらシチズン時計卓球部の現役の選手や街のスポーツセンターのおじいちゃん・おばあちゃんに卓球の相手をしてもらって、ようやくこのポジションに来ることができました。

たくさんの物をこの西東京市からもらって、今の活動があると思います。

今回、皆さんにお渡ししたユニフォームは、実際に僕が全日本選手権等で着用したものです。

少しでもそういった物に子ども達が触れて、卓球やスポーツに興味を持ってもらい、この土地から日本代表になれる選手が出てきてくれると嬉しいです。

今後は新型コロナウイルスが収まったらイベントなどを通じて、皆さんとコミュニケーションをとっていきたいです。



寄贈されたユニフォームと田無第一中学校卓球部

森蘭政崇選手

西東京市出身

西東京市立谷戸小学校卒業

現在は、岡山リベッツに所属し、

トップ選手として活躍中。

令和元年に西東京市PR親善大使に任命。



◆教育企画課 042-420-2822

新入学準備金申請のご案内

来年4月に新小・中学1年生になる子どものいる家庭が、経済的理由により就学困難と認められる場合に受給できる、新入学準備金の申請を受け付けています。

支給額(国が定めた基準額(定額)の支給)

新小学1年生 54,060円

新中学1年生 60,000円



支給時期

令和5年2月中旬(予定)

対象者

令和4年12月31日時点で西東京市に住民登録があり、下表のいずれかに該当する方

来年4月に小学校へ入学予定の方	→ 「新入学準備金」の申請が必要です。 ※申請後、収入等に関する審査があります。
就学奨励費で支弁区分ⅡまたはⅢの認定を受けている小学6年生	→
就学援助費を申請していない国公立小学校の6年生	→ 「就学援助費」の申請が必要です。 ※申請後、収入等に関する審査があります。 ※すぐに申請できます。 詳細は市ホームページをご覧ください。

申請受付場所・期間

学務課窓口(田無第二庁舎3階)	11月1日(火)~12月28日(水) 午前8時30分~午後5時 ※土・日・祝日を除く
臨時窓口(東分庁舎地下1階会議室2)	12月7日(水)~12月9日(金) 午前8時30分~午後5時

※窓口申請のみ。郵送不可。

必要な書類など、詳細は市ホームページをご覧ください。



◀市ホームページはこちら



◆学務課 042-420-2824

令和4年度 東京都功労者表彰 (福祉・医療・衛生功労)

10月3日(月)、市立東小学校・保谷小学校学校医(眼科)の佐藤千里子先生が、令和4年度東京都功労者表彰(福祉・医療・衛生功労)を受賞されました。

佐藤先生は、昭和51年4月から現在までの46年8か月にわたり、市立学校6校の学校医として、児童・生徒の目の健康教育等にご尽力されました。

学校医は、担当校の定期健康診断、小学校での就学時健康診断、学校保健に関する指導・助言、児童・生徒への健康に関する講話などを行います。佐藤先生には、学校医の業務だけではなく、校内で目の負傷者が出た場合の緊急処置についての教職員への指導、弱視児童が入学する際の受入れ対応、色覚検査と色覚異常への配慮など、多くの校務に関わっていただきました。また、地域医療の担い手としても信頼が厚く、西東京市眼科医会の学術講演会において平成15年度から通算17年間講義をされるなど、眼科校医の医学技術の研鑽にも寄与されました。

◆学務課 042-420-2825

教育委員会事務事業の点検・評価報告

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和3年度における主な施策事業である16項目についての点検及び評価を行い、報告書を作成しました。これは、教育委員会が所掌する事務について、教育委員会自らが点検及び評価を行い、結果を公表することで、市民の皆さまへの説明責任を果たしていくものです。

令和3年度は、平成31年3月に策定した「西東京市教育計画(平成31(2019)年度~2023年度)」の中間年度に当たります。本報告書には、主な施策事業に係る点検及び評価に加えて、現行の教育計画の取組状況について118の施策事業を方向ごとに整理し掲載しています。

今後も、子どもたちの学びを止めない充実した教育の実現を目指し、様々な施策を展開します。

報告書は、市情報公開コーナー及び市ホームページで公開しています。

◆教育企画課 042-420-2822